

Finggal Link

Cure Spray Case Report Vol.1

キュアスプレー
ケース レポート Vol.1

キュアスプレーを使用した褥瘡対策チームでの取り組み



独立行政法人 国立病院機構
都城医療センター
副看護師長 皮膚・排泄ケア認定看護師
平野 香奈 先生

この度、新しく販売されたキュアスプレーCS01（皮膚粘膜創傷治癒材） /（関連特許保持者は同センターの田畑雅士先生）を褥瘡患者に対して使用し、顕著なQOLの改善をみたので、その治療経過、患者の自覚症状（感想）、およびキュアスプレーの特徴についてお話しをしていただきました。

褥瘡対策チーム

都城医療センターでは、高度で良質な医療を提供し、病む人々が安心できる病院を目指しており、診療科、部門以外に組織横断的チームとして呼吸サポートチーム、感染対策チーム（ICT）、栄養サポートチーム（NST）・褥瘡対策チームがあります。

褥瘡対策チームは、褥瘡対策委員会の中に位置し、褥瘡専従医師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・褥瘡専任看護師で構成されており、以下の4つの目標に活動しています。

①褥瘡発生率の低下 ②院内職員の褥瘡予防に対して意識ケアの質向上を図る ③褥瘡対策において経費節減・病院運営を指揮した行動ができる ④NSTやICT等との連携を図り、より有効な褥瘡対策を実施していくことができる

その中で週1回に褥瘡チームと皮膚・排泄ケア認定看護師で褥瘡保有患者をラウンドし、褥瘡をアセスメントして、処置方法の検討を行うことで治癒促進・褥瘡悪化予防に努めています。

褥瘡患者に対するキュアスプレーによる介入症例

【症例】：76歳 男性

【既往歴】：高血圧症、糖尿病、巨赤芽球性貧血

【常用薬】：ニフェジピンR 20mmg ビドプロロール 5mmg

【現病歴】：

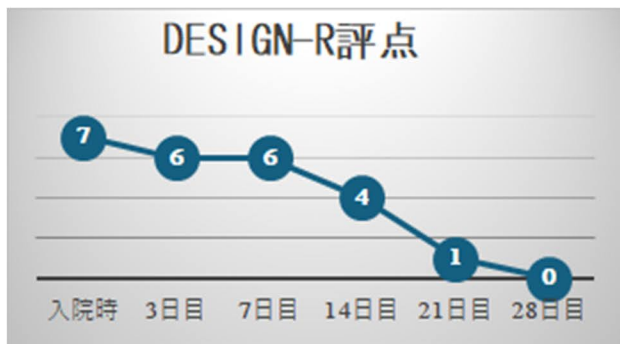
- ・高血圧症と糖尿病のため、かかりつけ医院に通院中、2023年より腰痛症にて歩行困難。食事量も減少する。
- ・2024年6月より食事摂取困難となり、臥床するようになる。
- ・2024年8月に立位、歩行困難となり、かかりつけ医院に救急搬送。
汎血球減少を認め、赤血球2U輸血。同日夜に大量の嘔吐を認め、食事困難となり救急搬送。

【現症】：

- ・入院時より右大転子部に2.5x2.5cm、ステージIII（D3-e3s3i0g1n0p0:7点）の褥瘡。
- ・入院後はエアーマットレスの使用、2時間毎の体位変換を実施。
- ・褥瘡局所処置は1回/日洗浄後、キュアスプレーを2プッシュし、創部保護のためにエスアイメッシュ保護とガーゼ保護を実施する。
- ・入院後28日目の2024年9月17日に褥瘡は治癒し終了した。

【褥瘡の経過】

褥瘡DESIGN-R¹⁾による褥瘡グレードの時系列変化を下記に示す。



キュアスプレーCS1

	DESIGN-R
入院時	D3-e3s3i0g1n0p0 : 7点
3日目	D3-e3s3i0g0n0p0 : 6点
7日目	D3-e3s3i0g0n0p0 : 6点
14日目	d2-e1s3i0g0n0p0 : 4点
21日目	d2-e1s0i0g0n0p0 : 1点



入院時 : D3-e3s3i0g1n0p0 : 7点



入院後3日目 : D3-e3s3i0g0n0p0 : 6点



入院後7日目 : D3-e3s3i0g0n0p0 : 6点



入院後14日目 : d2-e1s3i0g0n0p0 : 4点



入院後21日目 : d2-e1s0i0g0n0p0 : 1点

考察

一般的には、ステージIIIで壊死組織の付着のある褥瘡では軟膏処置を行うことが多く²⁾、当院でもゲーベンクリームを使用して壊死組織を除去し、その後肉芽形成・上皮化促進のためにプロスタンディン軟膏を使用していますが、この度、使用したキュアスプレーも褥瘡治療のツールとして十分有用であることが示唆されました。

今後の取組み

今後は症例に応じたキュアスプレーの使用による経過と軟膏処理やドレッシング材の使用による経過の違いについても確認していきたいと思えます。

さらに、医師主導型研究により開発されたキュアスプレーの活用のような新しい取り組みについても、褥瘡対策チームをはじめとした多職種協働の活動で情報共有をすすめて、早期の褥瘡治癒や再発予防に取り組んでまいります。

参考文献

- 1) 一般社団法人 日本褥瘡学会編：改定 DEDSIGN-R2020 コンセンサス・ドキュメント. 照林社、東京、2021.
- 2) 創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン策定委員会（褥瘡グループ）：創傷・褥瘡・熱傷ガイドライン（2023）-2 褥瘡診療ガイドライン（第3版）. 日皮会誌:133(12), 2735-2797, 2023.

-
- ・取材：2024年10月 オンラインにて、フィンガルリンク株が取材しました。
 - ・一施設の事例であり、製品の使用により、褥瘡の治癒を保証するものではありません。
 - ・キュアスプレーは(株)キュア薬品の商標です。
 - ・製造販売元はキュア薬品、発売元はフィンガルリンクです。

 - ・一般医療機器 液体包帯
 - ・届出番号：46B3X10006000001 / 販売名：キュアスプレーCS1（皮膚粘膜創傷治癒材）

禁忌 1.使用目的以外の用途で使用しないこと。
2.本剤に配合された原材料に対し、発疹・皮膚炎等の過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと

原材料、用法・用量、保管方法等については添付文書をご参照下さい。